

ケータイ・スマホ利用のライフスタイル研究（3）

小中学生の ICT 利用のライフスタイル特性

○栗原 俊介¹ 吉良 文夫¹ 飽戸 弘²

¹NTT ドコモ モバイル社会研究所 ²東京大学名誉教授

キーワード：スマートフォン，子ども，社会調査，数量化Ⅱ類

1 研究目的

スマートフォン(以下、スマホ)の普及に伴い、毎日 YouTube を利用する子どもは小学1年から3割を超えており中学生になると6割程度に達している[1][2]。スマホやインターネットが子どもに浸透する中で、その影響を明らかにすることが求められている。そこで本報告では学習のためにインターネットを利用している小中学生の ICT 利用実態やライフスタイルを明らかにするため、数量化理論第Ⅱ類で分析をした結果について考察をする。

2 調査概要

- 調査方法：訪問留置調査（2018年9月に実施）
- 調査対象：関東(1都6県)在住の小中学生とその保護者 500世帯
- 調査内容：ライフスタイル変数, ICT 利用状況, 基本属性
- 標本抽出法：層化二段抽出[クォータサンプリング法(都市規模別・性別・年代)]。母集団(H27年国勢調査)の人口に基づき、7～15歳の都市規模別人口構成比に応じて、町丁目(50地点)を比例配分して抽出し、抽出された町丁目において、7～9歳、10～12歳、13～15歳の都市規模別人口構成比に応じて個人を割り当て、該当者をランダムウォーク法で抽出

3 分析

数量化理論第Ⅱ類を用いてモデルを作成した。外的基準は「学校や塾の宿題について、インターネットで調べたり動画をみる」という質問に小中学生自身が「している」と回答した「第1群(ネット学習有)」と「していない」と回答した「第2群(ネット学習無)」の2群とした。説明変数はライフスタイル変数, ICT 利用状況, 基本属性を含む7つの変数を用いた。

4 調査結果

数量化理論第Ⅱ類を用いて分析した結果、相関比 η 0.57, 判別率 79% のモデルが導出された(図1)。

外的基準に対する偏相関係数は「子どもの学年・性別[0.35]」「利用端末の組み合わせ[0.20]」「親子間のメッセージ頻度[0.17]」「YouTube 利用頻度[0.16]」「放課後の活動[0.11]」「オンラインゲームをする時間(子が回答)[0.11]」「親子間の対面の会話頻度[0.06]」であった。

カテゴリーウェイトが0.35以上だったものは、中1～3[女][0.99], パソコン含み ICT 利用[0.52], 親子間のメッセージ頻度が週に2,3回くらい[0.50], 中1～3[男][0.37], YouTube 利用頻度が毎日1時間くらい[0.35]であった(図2)。

5 結論

インターネットで調べたり動画をみる小中学生の特徴を ICT 利用やライフスタイルの観点で分析した結果、スマホやタブレットのみではなくパソコンを併用し、親子間でのメッセージのやりとりや YouTube 利用を適度に行なっている子どもが、学習や調べものなどにインターネットを有効に活用している傾向が伺えた。

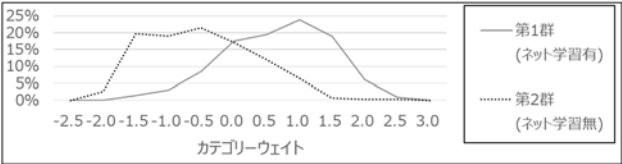


図1 判別グラフ

No.	アイテム名 【偏相関係数, 説明変数の分類】	カテゴリー名	カテゴリーウェイト (学習のためのネット利用) 無<= 有>
1	子どもの学年・性別 [0.35, 基本属性]	小1～3[男](n=77)	-0.77
		小1～3[女](n=76)	0.64
		小4～6[男](n=80)	-0.08
		小4～6[女](n=78)	0.07
		中1～3[男](n=85)	0.37
		中1～3[女](n=78)	0.99
2	利用端末の組み合わせ [0.20, ICT利用状況]	スマホ・タブレット・パソコン利用なし(n=91)	-0.12
		タブレットのみ(n=69)	-0.11
		スマホのみ(n=144)	-0.28
		スマホとタブレット利用(n=62)	0.05
3	親子間のメッセージ頻度 [0.17, ライフスタイル変数]	月に1回未満(n=238)	-0.22
		月に2,3回くらい(n=75)	-0.01
		週に2,3回くらい(n=89)	0.50
		週4回以上(n=72)	0.12
4	YouTube利用頻度 (子が回答) [0.16, ICT利用状況]	していない(n=140)	-0.26
		1日1回より少ない(n=88)	-0.19
		毎日30分くらい(n=89)	0.01
		毎日1時間くらい(n=83)	0.35
5	放課後の活動 [0.11, ライフスタイル変数]	毎日2～3時間くらい(n=74)	0.31
		塾・部活・習い事通いなし(n=60)	-0.41
		習い事(学童)のみ(n=185)	-0.03
		部活のみ、部活と習い事のみ(n=64)	0.08
6	オンラインゲームを する時間(子が回答) [0.11, ICT利用状況]	塾のみ、塾と部活のみ(n=83)	0.13
		塾と習い事(n=82)	0.17
		していない(n=269)	-0.15
		1日1時間未満(n=122)	0.14
7	親子間の対面の会話頻度 [0.06, ライフスタイル変数]	毎日1時間以上(n=83)	0.28
		毎日1時間未満(n=58)	0.12
		毎日1時間以上2時間未満(n=102)	0.09
		毎日2時間以上5時間未満(n=186)	-0.10
		毎日5時間以上(n=128)	0.02

図2 数量化理論第Ⅱ類の結果

参考文献

- [1] モバイル社会研究所 子ども調査レポート No. 10
<http://www.moba-ken.jp/project/children/kod_ict_no10.pdf> (2019年7月11日)
- [2] 飽戸弘・鈴木孝幸樹・栗原俊介(2018). ケータイ利用のライフスタイル研究(1), 日本行動計量学会 第46回大会抄録集, 316-319.